

令和7年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 13
ID 101003

【施設状況】

グループ名称	豊野老人福祉センター										
指定管理者名	豊野地区住民自治協議会							法人番号			
所管課	主	101000	高齢者活躍支援課		副						
構成施設	1407	豊野老人福祉センター									
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域		01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	大会議室・会議室・教養娯楽室・事務室										
施設設置目的	高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーション等の便宜を供与するとともに、地域における福祉活動の場を提供し、高齢者の福祉向上を図る。										
基本方針等	施設の適正な維持管理に努めるとともに、地域福祉活動の場の提供、生きがいづくり講座の開催等の事業を推進することにより、施設の設置目的である高齢者福祉の向上、高齢者の心身の健康増進を図る。										
主な実施事業	高齢者に対して、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。講座等運営業務及び地域福祉活動に関する集会等を行う者への会場提供業務										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		豊野地区住民自治協議会				当該指定管理者の 指定回数		2回			
指定期間		令和7年4月1日		～	令和12年3月31日		3年	当該指定管理者の 管理運営開始日		令和4年4月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。										評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)										3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	3
	老福:生きがいづくり講座受講者数	人	1,954	2,004	1,991	2,097	105%	
	老福:地域福祉活動利用者数	人	1,267	1,267	2,063	2,604	126%	
	老福:グループ活動利用者数	人	3,795	4,191	4,283	4,661	109%	
	老福:その他利用者数	人	2,203	2,114	2,039	2,105	103%	
(特記事項) その他利用者数:地域イベント・会議、外部講座・イベント等								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・施設(老人福祉センター)の利用許可に関する業務 ・生きがいづくり講座の開校 114回 延べ約2,000名の参加 ・消防避難訓練実施(年2回) ・洪水時避難訓練実施(年1回) ・消防設備点検実施(年2回) ・指定管理者 豊野地区住民自治協議会、市豊野防災交流センター、かがやきひろば豊野共催の「秋まつり」開催、福祉関係研修会の施設利用許可業務						
	自主事業	・自主グループ(17グループ)活動への支援と施設貸館業務 ・とよの秋まつり開催、豊野防災交流センター、住自協と合同で実施。講座・自主グループのステージ発表、製作品の展示 ・書初め教室						
サービス維持・向上の取組み(広報等)		・地区の回覧や「広報ながの」を活用し、各種講座の受講生等を募集するとともに、老人福祉センターの活動の周知に努めた。						

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート		3
	(2) 調査、会議等の内容 ・講座受講生を対象に、講座終了時、アンケートを実施。 ・貸館の際などに、施設利用者へ声がけを行い、利用者の要望を把握。			
	(3) 調査、会議等の結果 ・実施した生きがいづくり講座:14講座(119回) 講座参加者数:1,991人 アンケート回答者数:69人 良かった68人(99%)、今後も続けたい69人(100%) うち、特に申込人数が多かった講座 ・懐かしの歌&四季の歌 参加人数37人(募集人員20人) ・歌ってリフレッシュカラオケ 参加人数29人(募集人員20人) ・若さUP! ディスコダンスエクササイズ 参加人数28人(募集人員20人)			
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 ・定員を超過する申込があった場合は、講師との連携を密にすることにより、必要に応じて定員を変更するなど、より多くの受講生が参加できるよう柔軟に対応したことが評価された。 ・身体を動かす講座については、これまで比較的女性の参加が多かったが、男性向けの講座を企画・開催したことで、これまで参加しなかった受講生からも好評を得た。			3
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・講座終了時のアンケートで、講座を継続してほしいとの要望があった。 ・冬季は開催しない講座について、1～3月も開催してほしい。			
	≪対応措置≫ 単発講座として、スマホカメラ教室2種類、花講座5回シリーズ、継続講座として、男性のための身体作り教室、ヨガストレッチでリラックスの開催。また、コーヒーの淹れ方講座を実施した。			

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和7年度決算			令和6年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
	指定事業	利用料金	300,000	利用料金	298,668	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料			使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料	
指定管理料		9,003,000	指定管理料	9,003,000	貸付料			貸付料			
委託料			委託料		その他			その他			
販売収入等			販売収入等		利益配分			利益配分			
その他収入		130,000	その他収入	122,117	計		0	計	0		
収入計		9,433,000	収入計	9,423,785	歳出	指定管理料	9,003,000	指定管理料	8,772,000		
人件費		5,185,000	人件費	5,173,913		委託料		委託料	0		
設備管理費		1,190,000	設備管理費	1,298,264		需用費	520,412	需用費	466,110		
備品購入費		80,000	備品購入費	69,300		役務費		役務費	0		
修繕費		150,000	修繕費	15,400		使用料・賃借料	31,574	使用料・賃借料	31,574		
光熱水費		230,000	光熱水費	140,107		修繕費	276,100	修繕費	377,300		
事業費		640,000	事業費	626,400		工事請負費		工事請負費	0		
事務経費		1,358,000	事務経費	1,448,810		備品購入費		備品購入費	0		
本社経費		480,000	本社経費	480,000		その他		その他	0		
その他		120,000	その他	118,097		計	9,831,086	計	9,646,984		
利益配分			利益配分								
支出計		9,433,000	支出計	9,370,291							
指定事業損益	0	指定事業損益	53,494								
利益配分を除く 指定事業損益	0	利益配分を除く 指定事業損益	53,494								
収入		収入									
自主事業	支出		支出								
	自主事業損益	0	自主事業損益	0							
損益	0		53,494		差引	-9,831,086		-9,646,984			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									55.2%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分			確認内容	チェック欄	評価
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか		☒	3
		配置実績 (うち市内雇用職員数)	所長1名(1名)、指導員1名(1名)		
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		☒	
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いが適切に行われたか		☒	
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		☒	
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか					
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		☒		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか				

6 危機管理体制

※ すべて [] で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

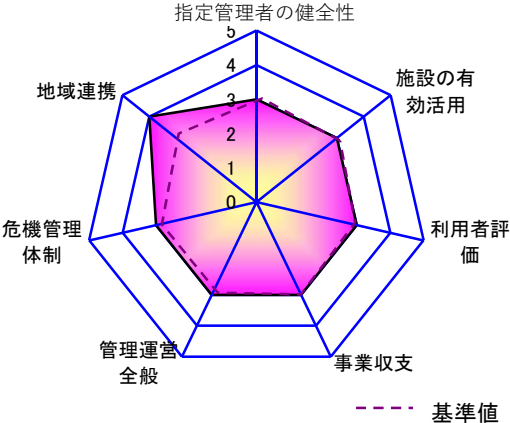
No. 13

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
	・講座実施にあたっては、施設周辺にある公民館等と連携を図る。 ・地区内の人材発掘・育成のため、施設職員、講座講師については、可能な限り地元から採用するよう努めるとともに、物品の購入等についても、地元業者を利用する。 ・地域に生活する高齢者に安心安全に利用できるよう、館内の維持管理に努める。	4	

【総合評価】

評価項目			評価	得点	総合評価	
総合評価	指定管理者の健全性	3	6	合計得点		
	施設の有効活用	3	12			
	利用者評価	3	12	62		
	事業収支	3	6			
	管理運営全般	3	12			
	危機管理体制	3	6			
	地域連携	4	8			
	評価理由					
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題		改善状況		改善案等(改善されていない場合)	
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)		・地域との連携を深めるとともに利用者及び地域のニーズを把握することに努め、地域福祉活動や世代間交流を充実させることにより、魅力的な講座づくりに努める。 ・公共施設の個別施設計画の方針に基づき、老朽化した施設の修繕を計画的に実施し、安全を維持していく。				

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・住民自治協議会主催のイベントや公民館主催のイベントに対して会議室等を貸し出すことにより、地域住民に交流の場を提供した。
- ・生きがいつくり講座、自主グループ活動での成果品を年間を通して展示した。
- ・男性の利用を促進するために、男性が興味を持つ題材の講座を企画し、男性の社会参加及び仲間づくりにつながる支援を行った。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・日頃から経費削減に努めつつ、利用者の利便性の向上に努めた。
- ・消防避難訓練および洪水災害時避難訓練を隣接の消防局豊野分署の職員と共同で行うことで、緊急時の対応方法及び災害時の避難行動に対する理解を深めた。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・昨今の物価上昇等を踏まえ、講座実施に掛かる経費分(受講料:1回100円)も含めて増額の検討をいただきたい。
- ・施設長寿命化工事が先送りになったとのこと、建物の老朽化改善(特に2F部分)、トイレの改修、上下水道管更新(屋外での漏水激しい)は必須。
- ・照明のLED化はR8に実施する予定であるが、併せて2Fの大集会室配電盤機器の老朽化に伴う更新等も検討いただきたい。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

- ・サービス向上に向けた取組及び事業効率化に向けた取組の両面において、概ね計画どおり講座を実施し、高評価を得ることができた。
- ・アンケートや聞き取りなどから利用者の要望を反映させた講座等の企画を行うことができた。
- ・「とよの秋まつり」を公民館や住民自治協議会と合同で開催するなど、地域との連携も意欲的に推進した。

② 次年度以降の取組み

- ・今後も受講生の声を聴きながら、ニーズに応じた講座を開催する。
- ・令和6年に引き続き、「とよの秋まつり」を公民館、住民自治協議会と合同で開催し、利用者の活躍の場を提供する。
- ・貸館事業については、効率良く、かつ公平に使用できるよう運営する。